

会 議 録（概要）

会 議 の 名 称	令和３年度 第１回相川郷土博物館展示検討会
開 催 日 時	令和３年 11 月 18 日（木）14：00～16：00
場 所	きらりうむ佐渡 講堂
議 題	(1)相川郷土博物館の概要とこれまでの経過について (2)検討会の進め方等について (3)相川郷土博物館展示シナリオ及びゾーニング（案）について (4)その他
会議の公開・非公開 （非公開とした場合は、その理由）	公開
出 席 者	（委員） 有識者 ５名 （オブザーバー） 県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室 三ツ井専門調査員 株式会社グリーンシグマ ２名 （事務局） 佐渡博物館 館長 池田 哲夫 教育委員会社会教育課佐渡学センター 濱崎センター長 中田係長 石渕主任 平野学芸員 世界遺産推進課世界遺産保存係 相羽主任文化財調査員
会 議 資 料	資料No.1 相川郷土博物館の概要とこれまでの経過について 資料No.2 検討会の進め方等について 資料No.3 相川郷土博物館展示シナリオ及びゾーニング（案）
傍 聴 人 の 数	0 人
備 考	・第２回検討会は、現地で展示内容を説明後、協議する。 ・第３回に収蔵計画の検討を追加する。

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
	議題について、事務局より説明し、質疑及び意見を伺った。 (1)相川郷土博物館の概要とこれまでの経過について （質疑） A 委員 整備が進められることは、これからの相川において必要なことだと思う。 鉾山関係に特化した展示にするということだったが、そのことは合併前の相川町の博物館協議会でも言われていた。その際に、町の歴史や美術工芸等の鉾山と関係のない資料を展示する施設が必要であり、鉾山の展示と両立して相川の文化を発信することが課題であった。 濱崎センター長 そのことについては、どのように考えているか。 工事期間中の館内の資料の取り扱いについても、本検討会において意見をいただきたいと考えている。 事務局としては、将来的に地域の中で資料を展示できないか考えている。 ただ、すぐには難しいので、当面の間は両津郷土博物館で展示し、資料整理を進めながら、地域の中で展示できるようにしたい考えだ。 B 委員 鉾山関係に特化した展示にするということから相川郷土博物館という名称はふさわしくなくなると思う。 濱崎センター長 現行の位置づけを変えるということか。 A 委員 その件については、博物館協議会で諮り、検討したい。 名称についてだが、開館当初、「郷土」の部分にふりがなを振って、「相川郷土（こうざん）博物館」として対外的にアピールしていた。相川にとっては郷土＝鉾山という気持ちがあったと聞いている。 B 委員 名称に拘っているわけではない。 相川の人であれば郷土＝鉾山とわかるかもしれないが、他の人はそうではない。鉾山のガイダンス施設になることから、あり方が合わなくなっていると感じる。 （意見） A 委員 相川郷土博物館の収蔵庫は、もともと織物を入れる文化財収蔵庫である。現状、奉行所の出土品も収蔵されている。 第 3 回でもいいので、文化財に係る保存計画を作成し、収蔵庫内の資料の取り扱いや、地域の中で展示する資料の取り扱いを検討して

	ほしい。
C 委員	建物の用途にマッチした資料を集め、見に来た人に分かりやすい展示になるようにしてほしい。
C 委員 濱崎センター長	資料の貸与は可能なのか。 今後の検討次第ですが、台帳整備を行った上で貸出できるようにしたい。
C 委員	この検討会と並行して、その件を協議する場を設けていただきたい。
B 委員	耐震改修工事中の 2 年間は、相川郷土博物館の資料を両津郷土博物館に仮置きするという案もあるとのことだが、今後、世界遺産登録されて相川の町を訪れたときに、関連資料が両津まで行かないと見られないというのは、動線を考えたときにどうかとを感じる。 展示する場所があるのであれば、相川内での展示を検討していただきたい。
濱崎センター長	市の予算の絡みもあることから決定事項ではないものの、既存資料の取り扱いをどうするかという内部の検討が遅れていることもあり、工事までの期間を考えると一回は両津郷土博物館に置かないといけないと考えている。 そのうえで準備が整い次第に要所要所で、相川地区内で資料展示ができればと考えている。 地域での展示については、行政主導ではなく、地区の要望があり、町づくり中で一緒に検討していくという形にしていきたい。
D 委員	技能伝承館で行っている裂き折りや無名異焼といった体験は、開発センター等の他施設でも実施できると考える。 技能伝承館の機能を移転させ、活用することも検討してはどうか。
C 委員 濱崎センター長	奉行所の活用を検討してはどうか。 相川郷土博物館の資料を展示する施設の候補であると考えている。 委員の意見をいただきながら進めていきたい。
	(2)検討会の進め方等について 質疑・意見なし。
	(3)相川郷土博物館展示シナリオ及びゾーニング（案）について （質疑）
A 委員	耐震改修で壁や床など、どこがどのように変わるのか。

石渕主任	また、現在、窓を塞いで資料に影響が出ないように展示しているが、改修後は、どうなるのか。 そのことが分らないと、展示を検討できない。 また、具体的な展示の写真がないとイメージができない。 次回、耐震改修後の形を示した上で、展示資料や手法をイメージできる資料を作成し、現地で説明するので、その資料に基づき、ゾーニング・展示内容の検討をお願いしたい。
E 委員	現在の博物館内に鉱山学校に関する貴重な資料が展示されているが、その資料はどうなるのか。
平野学芸員	鉱山の歴史内での展示を考えている。
B 委員	展示更新後の展示スペースは博物館内だけで考えているのか。
平野学芸員	文書館は活用しないのか。
	今回活用している補助金は史跡整備にかかるものであることから、文書館は対象外である。そのため、展示スペースは博物館内だけとなる。
三ツ井専門調査員	旧鉱山本部事務所に2カ所倉庫を設ける計画になっている。現在物置となっている場所は、北沢浮遊選鉱場が眺望できるし、昔のカウンターの痕跡が残っている可能性があるが、この場所にどうしても倉庫が必要なのか。 来訪者が入れるスペースとして活用できないのか。
平野学芸員	旧鉱山本部事務所内をフレキシブルに活用したいと考えている。 倉庫は、活用時に展示資料の一部を保管する場所として想定している。 ただ、12月に実施する部分解体調査で何らかの痕跡が出てきた場合は、活用方法を再検討する必要があると考えている。
B 委員	旧鉱山本部事務所の学芸員室として使用しているスペースを倉庫として活用できないのか。
平野学芸員	段差があり資料の移動が容易にはできないため、難しいと考えている。
B 委員	来館者のための博物館であることを踏まえ、倉庫の位置については再検討していただきたい。
B 委員	(意見) ゴールデン佐渡やきらりうむ佐渡、奉行所など、他の金山関係の資料を展示している施設との棲み分けや観覧の順番はどうなるのか。

	そういったことも含めて、町全体を俯瞰して展示を検討してほしい。
A 委員	有田八郎記念館や名誉町民資料館、技能伝承館など周辺施設をどうするのかも含めて検討していただきたい。
B 委員	展示を含めた建物の利用や町並みの計画については、教育委員会だけではなく、関係課も交えて検討していただきたい。
D 委員	博物館の展示や佐渡金山の展示構成を踏まえ、必要があれば機械工場に展示してある資料を整理のうえ博物館に貸し出し、現地は現地でしか見られないもの、博物館は博物館でしか見られないものという棲み分けは必要と考える。
A 委員	北沢浮遊選鉱場等の施設がいつ整備され公開されるのかが分かると、資料の取り上げ方が変わってくると考える。
三ツ井専門調査員	相川地区内の各施設をどのように周遊するかという動線の計画が重要である。各施設でこういった資料を展示するのか、収蔵庫でこういった資料を保管するのかという整理が必要と感じた。 また、相川郷土博物館をサテライトガイダンス施設として整備していくにあたり、博物館を含め、どの施設からどこへ誘導するのかという整理が必要である。 これらのことを整理して、博物館の展示にフィードバックしなければならない。
A 委員	北沢にある史跡（選鉱場等の施設）を見せるだけではなく、実際にどのように稼働していたか、ハンズオン等を活用し、見せていくことを検討していただきたい。
B 委員	(4)その他 (意見) 去年、ジオパーク推進室にいた職員が町歩きルートを考案していた。 動線を考えるうえで、次回以降、オブザーバーとして出席してもらえないか検討していただきたい。